

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 1 月 27 日 (2005.1.27)

【公表番号】特表 2004-515463 (P2004-515463A)

【公表日】平成 16 年 5 月 27 日 (2004.5.27)

【年通号数】公開・登録公報 2004-020

【出願番号】特願 2002-512249 (P2002-512249)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/4164

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/16

A 6 1 K 47/40

A 6 1 K 47/46

A 6 1 P 1/02

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 15/02

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/04

C 0 7 D 233/94

【F I】

A 6 1 K 31/4164

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/16

A 6 1 K 47/40

A 6 1 K 47/46

A 6 1 P 1/02

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 15/02

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/04

C 0 7 D 233/94

【手続補正書】

【提出日】平成 14 年 11 月 11 日 (2002.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒドロキシプロピル - シクロデキストリン (H P C D)、ナイアシンアミド、およびメトロニダゾールを含有する水溶液。

【請求項 2】

溶液中のメトロニダゾール濃度が 0.75% より高い請求項 1 記載の水溶液。

【請求項 3】

メトロニダゾールの濃度が約 1% またはそれより高い、請求項 2 記載の水溶液。

【請求項 4】

前記水溶液中に存在する H P C D およびナイアシンアミドの各濃度が、他方の不存在下で、前記水溶液中に存在するメトロニダゾールの濃度を得るのに十分な濃度より低い濃度である、請求項 1 記載の水溶液。

【請求項 5】

メトロニダゾールの濃度が約 1 % であり、H P C D の濃度が約 1 % であり、かつナイアシンアミドの濃度が約 0 . 5 ~ 1 % である、請求項 1 記載の水溶液。

【請求項 6】

メトロニダゾールの濃度が約 1 . 5 % であり、H P C D の濃度が約 5 % であり、かつナイアシンアミドの濃度が約 6 % である、請求項 1 記載の水溶液。

【請求項 7】

H P C D およびナイアシンアミド以外のメトロニダゾール溶解度増強剤を実質的に含有しない、請求項 1 記載の水溶液。

【請求項 8】

有機溶媒を実質的に含有しない、請求項 1 記載の水溶液。

【請求項 9】

ゲル化剤をさらに含有する、請求項 1 記載の水溶液。

【請求項 10】

水中で、ヒドロキシプロピル - シクロデキストリン (H P C D)、ナイアシンアミド、およびメトロニダゾールを混合することを含んで構成されるメトロニダゾールの水溶液を調製する方法。

【請求項 11】

水に H P C D およびナイアシンアミドを溶解した後、水にメトロニダゾールを添加する、請求項 10 記載の方法。

【請求項 12】

水中で、H P C D、ナイアシンアミド、およびメトロニダゾールを混合した後、ゲル化剤を添加することをさらに含んで構成される請求項 10 記載の方法。

【請求項 13】

水中に混合される H P C D およびナイアシンアミドの各量は、他方の不存在下で、H P C D およびナイアシンアミドの両方を含有する水中にメトロニダゾールを混合した際に得られるメトロニダゾール濃度を得るのに十分な量より低い、請求項 10 記載の方法。

【請求項 14】

請求項 10 記載の方法により製造される水溶液。

【請求項 15】

請求項 11 記載の方法により製造される水溶液。

【請求項 16】

請求項 12 記載の方法により製造される水溶液。

【請求項 17】

0 . 75 w / w % より高い濃度を有するメトロニダゾールの水溶液の有効的な量を疾患部位に局所的に塗布すること、およびメトロニダゾールで疾患を治療すること、を含んで構成される皮膚または粘膜疾患の治療法であって、前記溶液がヒドロキシプロピル - シクロデキストリンおよびナイアシンアミドをさらに含む方法。

【請求項 18】

1 日 1 回塗布する、請求項 17 記載の方法。

【請求項 19】

メトロニダゾールの濃度が約 1 % またはそれより高い、請求項 17 記載の方法。

【請求項 20】

前記疾患がしゅさ性アクネである、請求項 17 記載の方法。

【請求項 21】

容器およびその容器内のメトロニダゾール水溶液を含んで構成される皮膚または粘膜疾患

の局所的治療用キットであって、前記溶液がヒドロキシプロピル - - シクロデキストリン（ＨＰＣＤ）およびナイアシンアミドをさらに含む、キット。

【請求項 2 2】

溶液中のメトロニダゾールの濃度が 0 . 7 5 % またはそれより高い、請求項 2 1 記載のキット。

【請求項 2 3】

溶液中のメトロニダゾールの濃度が約 1 % またはそれより高い、請求項 2 2 記載のキット。

【請求項 2 4】

メトロニダゾールの濃度が約 1 % であり、ＨＰＣＤの濃度が約 1 % であり、かつナイアシンアミドの濃度が約 0 . 5 ~ 1 % である、請求項 2 3 記載のキット。

【請求項 2 5】

メトロニダゾールの濃度が約 1 . 5 % であり、ＨＰＣＤの濃度が約 5 % であり、かつナイアシンアミドの濃度が約 6 % である、請求項 2 3 記載のキット。

【請求項 2 6】

1 日に 1 回患部に溶液を塗布するための指示書をさらに含有する、請求項 2 3 記載のキット。

【請求項 2 7】

ＨＰＣＤの濃度が、ナイアシンアミドの濃度に等しいかまたはそれより高い、請求項 1 記載の水溶液。

【請求項 2 8】

ＨＰＣＤの濃度が、ナイアシンアミドの濃度に等しいかまたは 1 . 5 倍より高い、請求項 2 7 記載の水溶液。